

# PCSA アクションレポート(依存問題対策プロジェクトチーム)

平成 30 年 8 月版

## 第 15 回依存問題対策プロジェクトチーム

開催日時 平成 30 年 8 月 25 日（土） 午前 9 時 30～正午 12 時

開催場所 PCSA 会議室

出席人数 メンバー6名、合計6名

出席者 <リーダー>

辻 良樹 株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長

<サブリーダー>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 監査役

<メンバー>

玄 昌起 株式会社ダイナム 営業推進部 業務担当

武田 裕明 株式会社ニラク 法務部

住谷 一真 夢コーポレーション株式会社 運営推進部 部長

武内 好努 アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 組織戦略部 課長

### 1) 第 16 回依存問題対策プロジェクトチーム in 沖縄「リカバリーサポート・ネットワーク勉強会」振り返り

<RSN 事務所>

- ・対応している相談件数を考慮すると人員が少ないと感じた。
- ・事例を伺うと非常に生々しいものだった。
- ・業界団体としてこの活動に対する支援に意義があると感じた。

<RSN 勉強会>

- ・これまでに何度か勉強会に参加してきたが、西村先生の講演内容が時流の変化を取り入れて徐々に変化してきているのがよくわかった。

### 2) 依存トライアル 情報共有

ホール4社が合同で、依存対策に関する試験運用（トライアル）を今年2月に実施した。その結果報告、並びに改善点について情報を共有した。会員カードを使用しての対応が現実的、ホールスタッフが排除プログラムの対象者を全員記憶対応するのは難しい、顔認証があれば確認と対応がより容易になるがマスクや帽子などの阻害要因も考慮すべきなどの意見があった。

### 3) JRA 家族申告プログラムについて

家族申告プログラムの本人同意の有無や医師の診断書などの条件について、既に実施している JRA を参考にしつつ現実的な対応方法について検討した。医師の診断書はどういった病名になるのか、依存に病名はつかないのではないのか、WHO でギャンブル障害が認定されたが 12 ヶ月以上の重篤な状態は条件として厳しいのではないかなどの意見交換がされた。

#### 4) ワンデーポート活動他セミナーについて

ワンデーポートが開催しているセミナー、通信の内容について参加したメンバーからの情報をもとに意見交換をした。現場で依存問題を抱えている人物と対応してきた団体から、ギャンブル依存は病気とは言えない、また、マスコミの報道は現実と乖離している、等の発言があったと報告された。また、別団体のセミナーの内容を共有しパチンコの依存に関連する団体の方向性について意見を交換した。

#### 5) 各社の活動動向について

RSN への出向へ自社より出したいと検討、進めている件について進捗の報告がされた。また、第三者機関の設立についても現状の共有がなされた。

#### 6) 次回開催

平成 30 年 9 月 29 日（土）  
午前 9 時 30 分～正午 12 時  
PCSA 会議室にて

以上